

8507 タザキ氏はホテルのカフェ・テラスで・・・

タザキ氏はホテルのカフェ・テラスでコーヒーを飲みながら恋人のマチコが来るのを待っていた。

窓のすぐ前に地下鉄の出口があり、その脇で宝くじ売りのおばさんが店を広げている。タザキ氏は見るともなくそこにたたずむ人の姿を眺めていた。

阿刀田 高『宝くじを買う男』

[許容訳例]

Mr.Tazaki was waiting for his girlfriend Machiko over a cup of coffee at a cafeteria in the hotel.

Directly in front of the window he could see a subway exit, and beside it a middle-aged woman presiding over a public lottery stall. Absent-mindedly, he watched the people there.

[翻訳例]

Tazaki was drinking coffee in the terrace café of the hotel as he waited for his girlfriend Machiko.

Directly in front of the window was a subway entrance, and next to it a middle-aged woman selling lottery tickets had her stall. Idly, Tazaki watched the figures who lingered there.

■タザキ氏はホテルのカフェ・テラスでコーヒーを飲みながら恋人のマチコが来るのを待っていた。(8507)

★「タザキ氏」は、小説なら、普通、Tazakiです。もちろん、Mr. Tazakiとしても間違いではありません。

★「ホテルのカフェ・テラスで」ですが、「カフェテラス」をそのまま the café terrace とすることはできません。こういう英語はないからです。ここは、テラスにあるカフェということにして in the terrace café of the hotel としましょう。なお、cafeteria でも間違いではないとおもいますが、これは会社の食堂とかセルフサービスの軽食堂などに使うことが多いと思います。

★「コーヒーを飲みながら・・・」の「コーヒーを飲む」は drink coffee ; have a (cup of) coffee など。なお、take a (cup of) coffee とは言いません。

★「恋人のマチコ」は his girl friend Machiko が一番いいでしょう。「恋人」には a love ; a sweetheart などがありますが、a sweetheart は古めかしい感じがします、a love は、必ず主観的な気持ちが含まれます。たとえば、他人の恋人について使うと、何か皮肉なニュアンスを込める場合です。

★「～が来るのを待っていた」は waited for ~ to come ですが、ここでは to come まで書か

なくてもわかります。

● [ながら] (暫時同時)

「コーヒーを飲み [ながら]」によく使われるover coffeeは、「社交の手段としてのコーヒーという飲み物」というニュアンスになりますから、一人ではなく二人(以上)の人とコーヒーを飲みながら何かするときに用いるのが普通です。たとえば、They discussed it over coffee.のように。ここでは一人ですからちょっと気になります。ただし、over a (cup of) coffeeなら、ここでも使えます。その場合はTazaki was waiting for his girlfriend Machiko over a coffee at…となります。

ところで、「ながら」は二つの動作が「暫時同時」に行われるときに使われる連結辞です。これは「瞬時同時」の「…していた時…した」(過去進行形+when+過去時制 e.g. I was having breakfast when he phoned.)の変形と考えていいでしょう。したがって、「…ながら…した [していた]」は「瞬時同時のwhen」を「暫時同時を表すas」に変えればいいのです。ですから、「タザキ氏はコーヒーを飲み [ながら] 恋人のマチコを待っていた」はTazaki was drinking coffee as he waited for Machiko.となります。これは一見、日本文と比重が違うように思えるかもしれません、決してそうではありません。つまり、この日本文は特に「待っていた」という部分に比重があるわけではなく、むしろ「…ながら…していた」という「光景そのもの」(完結したイメージ)が重要と思われるからです。

ところで、ここで日本語の「…していた」に引きずられてHe was waiting for her as he was drinking coffee.と書いてしまうかもしれません、これも、たしかに「彼女を待ちながら彼はコーヒーを飲んでいた」(彼はコーヒーを飲むのが目的でついでに彼女を待っていた)ということになりますが、実は、この文は英語としては完結していないくて不自然です。すでに幾度か説明していますように、「過去進行形」は、別の過去の動作・状態を基準時として用いるのが普通ですから、使う際にはもう一つ「過去の時(動作)」が必要です。つまり、このように過去進行形を使うと、背景動作を二つ並べただけで、文として完結しているのです。「彼女を待ちながら彼はコーヒーを飲んでいた。(その時 [そうしたら] …が起きた)」となるべき「過去の基準時(動作)」の文がない未完結な文ということになります。

■窓のすぐ前に地下鉄の出口があり、その脇で宝くじ売りのおばさんが店を広げている。
(8507)

★「窓のすぐ前に」は directly [right] in front of the window です。in front of の代わりに before を用いても間違いではありませんが、少し古めかしく感じられます。

★「地下鉄」はアメリカなら subway であり、イギリスなら underground です。英米で用語が異なります。

★「出口」は exit ですが entrance としても構いません。なお、「地下鉄の出口」は不特定の一つですから不定冠詞をつけることになります。

●文構造（～に～がある）

「窓のすぐ前に地下鉄の出口がある」は There was ~ right [directly] in front of the window. の形ですが、他に Right [Directly] in front of the window was ~. とすることができるし、He could see ~ right [directly] in front of the window. と書くことも出来ます。

● [（～があ）り]

この〔り〕は「順次」ですから and です。

★「その脇で」は by it とか next to it です。この it は the entrance [exit] のことです。

★「宝くじ」は (public) lottery tickets でしょう。

★「おばさん」は woman でもいいですが、日本語のニュアンスを含めると a middle-aged woman といたします。アメリカ英語には old hen という言い方もありますが、「口うるさい・騒々しい」というニュアンスが入ってしまいます。

● 「隠れ連体修飾節+不定代名詞的体言」（宝くじ売りのおばさん）

「宝くじ売りのおばさん」の〔の〕は「～を売っている」を端折ったものですから、実質的には「連体修飾節（宝くじを売っている）+不定代名詞的体言（おばさん）」です。英語では「名詞(a middle-aged woman)+関係詞節(who was selling lottery tickets)」ですが、a middle-aged woman selling lottery tickets)と端折っても使えます。

★「店を広げている」は、もちろん、「店を広げていた」です。辞書には「店を広げる」に keep a store at ~が出ていますが、これは「店を経営している」で、ここでは使えません。ここでは had her stall とか、あるいは「おばさんが宝くじを売る台を出していた」という意味で a middle-aged woman presided over a public lottery stand としてもよいでしょう、なお、この「店」は shop とか store で表すことはできません。また counter はちょっと大きさです。「店を広げる」というのは、『男はつらいよ』の寅さんのような人が縁日などで物を売るような場合に使う言葉です。ロンドンですとオックスフォード・ストリートなどで、観光客相手に道路にマットを広げて小間物をコックニーでまくし立てて売っています。

■タザキ氏は見るともなくそこにたたずむ人の姿を眺めていた。（8507）

★「見るともなく」は absent-mindedly とか idly などでしょう。

★「たたずむ」は「去りかねる・とどまる」という意味合いで linger がいいでしょう。辞書には stand (still) for a while; stop も出ていますが、これは「(じっとして)立つ・止まる」という意味で、ここでは不適切と思われます。

★「人の姿」は figures とします。shape; form は抽象的すぎます。これらは「個性とか特徴がない」ということを強調したいときに使う言葉です。

● 「連体修飾節+不定代名詞的体言」（そこにたたずむ人の姿）

「そこにたたずむ人の姿」は「連体修飾節（そこにたたずむ）+名詞（人の姿）」ですから、英語では「名詞(figures)+関係詞節(who lingered there)」で対応します。

★「（タザキ氏は）眺めていた」は watched がいいでしょう。watch というのは「動くものが

動こうとするのを眺める」という意味で、ここでは最もふさわしいと思われます。なお、「眺めていた」をwas watchingにすることはできません。すでに述べたように、過去進行形は「ある時点、つまり、何かが起こったとき・・・していた」という場合に使うものですから、具体的にwhen…という状況がある場合とか、あるいは次に「～が現れ・・・に立った」というような文がすぐ続いていなければなりません。